

令和4年8月

茗友会会員のみなさまへ

茗友会担当業務執行理事
茗友会会長臨時代理
櫻井修一

茗友会活動に関するご理解とご協力のお願いについて

1 茗友会会長人事について

茗友会役員につきましては、コロナ禍において茗友会総会の開催を見送らざるを得ない特殊な状況下における異例の措置として、昨年及び一昨年の学寮年報送付時にご説明させていただいたように、令和2年11月までであった本来の3年間の役員任期を超えて田中良幸会長以下の役員の皆さまにはその役職に留まっていたいただいているところです。

任期延長が一年半を超えた本年7月、中部茗友会が開催された折に、浅井定雄岐阜県学寮代表理事に対して田中良幸会長から、既に齢80を超えており後進に道を譲るべきとの強いご意向が示されました。これを重く受け止められた代表理事から、茗友会担当業務執行理事である私に対して、臨時に会長職を務めるようにのご沙汰がありました。異例の措置ではありますが、会長職の空白を埋めるべくお引き受けしましたことをまずご報告いたします。

役職名としては、正規の会長が不在の間の会長臨時代理ではありますが、本件に関して異論のある方からのご意見も拝聴したいと考えておりますので、岐阜県学寮宛てにメール（info@gigaku.jp）などによりお寄せください。自薦、他薦を問わず茗友会会長の適任者についての情報提供も歓迎いたします。

2 茗友会総会の見送りについて

役員人事を正式に決定する機関としての茗友会総会の開催については、令和2年、3年と見送って参りましたが、今年も開催は難しいと思っています。

理由の第一は、学寮開催の場合、民間の宴会場のような万全の感染対策が望めないこと、参加者には高齢者と若者が多く感染リスクが高いことがあげられます。

理由の第二は、国のGOTO事業の再開の判断が二転三転するように、そもそも感染状況の予測が困難です。また、万一学寮開催の直前に学寮に感染者が出たときには中止決定をタイムリーにお知らせできません。

理由の第三は、学寮開催が無理なら市中の宴会場での実施という選択もありうるかと思いますが、周年記念にも該当しない平年に、周到な準備が必要でかつ高額の会費を必要とする集会を企画する余裕はなく、しかも感染対策をしての不自由な環境下

であえて実施する意義は僅少です。

コロナがインフルエンザ並みの扱いになれば、以上のような心配をする必要はなくなり、遠慮なくにぎやかに談笑できるようになりますので、問題なく総会・懇親会が開催される状況になりましたら周年事業並みに開催したいと考えています。

3 副会長以下の人事について

茗友会副会長、事務局長、幹事、会計幹事、顧問の皆さまにおかれては、今のところ特に何かをお願いする予定はありませんが、茗友会の運営方法を知る者として引き続き現職に留まっていたいただきたいと思います。いずれ行われる役員の改選に備えて、留任でも新任でも幹事を引き受けていただける方からのご連絡もお待ちします。

新体制の人事案を固めて総会の議決承認を受ける準備を整え、次回総会での決定に備えます。

4 本年の茗友会会報について

本年の茗友会会報については、コロナ禍において各種の活動も低調であったことから、この一年間の近況報告を中心とした旧来型の内容になっておりますが、ご容赦いただきましたと思います。また、印刷製本費を節約するために装丁に関しては極力簡素化して、数十万円の冗費を節減して、きたるべき総会・懇親会に備えることとしておりますので、会員各位のご理解をいただければ幸いです。